

市民満足度評価の段階区分

全施策を通じて評価の基準を統一できるよう，下記の通り機械的に5段階に区分した。

総回答数のうち，無回答のものを除き，これを有効回答数とする。

各回答について「そう思う」に2点，「どちらかというと思う」に1点（「思わない」の選択肢はそれぞれマイナス），「どちらとも言いえない」に0点を乗じ，それらの合計を有効回答数で除したものを施策の点数とする。

具体的な算出例

そう思う	どちらかというと思う	どちらとも言いえない	どちらかというと思わない	そう思わない	無回答	総回答	有効回答
37	93	81	28	20	23	282	259

$$\frac{37 \times 2 + 93 \times 1 + 81 \times 0 + 28 \times (-1) + 20 \times (-2)}{259} = 0.382$$

点数に応じ5段階で評価を行う。

A：0.8以上

B：0.3を超え0.8未満

C：0.3以上0.3以下

D：0.8を超え0.3未満

E：0.8以下

例では， $0.3 < 0.382 < 0.8$ となり，評価結果はBとなる。